



三十冊

011
176

加味七直之月申旬

凍困函

七期月

0513

御坊村文書

文書
番号

007

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

9/1
176

幻紙海
三層の巻
三層の巻
三層の巻

七層の巻

七層の巻

幻紙海
三層の巻
三層の巻
三層の巻

0514

御坊村文書

007

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

宣和月

一、向來有「官私」之分，
 二、向來有「官私」之分，
 三、向來有「官私」之分，
 四、向來有「官私」之分，
 五、向來有「官私」之分，
 六、向來有「官私」之分，
 七、向來有「官私」之分，
 八、向來有「官私」之分，
 九、向來有「官私」之分，
 十、向來有「官私」之分。

真如自

[illegible]

清國年一八八九年有之り後全
清國年一八八九年有之り後全
清國年一八八九年有之り後全
清國年一八八九年有之り後全
清國年一八八九年有之り後全

昔年一見清光之客
今在江上

右主君の意なり。御前へ御儀を
申し上りて、又、御前へ申し上りて、
申し上りて、又、御前へ申し上りて、

但

[illegible]

之目
下

依回形爲指の根條々家々迄迄
一流の心は流れて有るが流れて又
果てては神の心度と位と云ふ
身も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ

安んずる心は神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ
心も心も流れては神の心度と位と云ふ

右
一

門紙に海老堂主人の経書あり
右紙より海老堂主人の経書あり
此紙より海老堂主人の経書あり
又此紙より海老堂主人の経書あり

海老堂主人

海老堂主人



0520

御坊村文書 文書号 007

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

名は凡そありてなるを
 みるに其の月には
 所は其の如く
 法は其の如く
 名は其の如く
 名は其の如く

六
 江
 江

江
 江

江
 江

0521



人々をいふはたはるるをいふ
あつたはりし事と目くらましの村人
海浜の事いふはたはるるをいふ

しるし
井口六郎

江中村人

あつたはりし事と目くらましの村人
あつたはりし事と目くらましの村人
あつたはりし事と目くらましの村人
あつたはりし事と目くらましの村人

りし事と目くらましの村人

井口六郎

江中村人

あつたはりし事と目くらましの村人

0522



拙作の海客のる客

七月

利波の海客のる客
海客のる客のる客
海客のる客のる客

大正四年

海客のる客

古の道

海客のる客のる客
海客のる客のる客

0526

御坊村文書

007

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

臣州上河津守一亞雲利和船
今なる所帰航し一と此處為
り向ふべき事なり

之

川鐵通江往來し舟車の便あり
多し此の故なり右村に渡りて
下流に

津又店所

七

御坊村文書
御坊村文書
御坊村文書
御坊村文書
御坊村文書

七組大佐

七組大佐

七組大佐

七組大佐

七組大佐

御坊村文書
御坊村文書
御坊村文書
御坊村文書
御坊村文書

村々より其の社場内より
持出たる其の社布に
着るは此の如し

御神座に置置り候へば
大に遊ばしむる可し

其の社場内より

清小波

七

御神座に置置り候へば

大に遊ばしむる可し

レ

子

口
結
性

諸
君
々

是
性
東
海
村

百
性

友
物

鳥
目
力
中
又

此
性
也
有
月
辰
性
東
海
村
結
性
東
海
村

0531

清之用金細方
納之其往清國有
清國之金細方
精之納金細方
細方之金細方
金細方之金細方
金細方之金細方

清之用金細方
納之其往清國有
清國之金細方
精之納金細方
細方之金細方
金細方之金細方
金細方之金細方

清之用金細方

清之用金細方

0532

御坊村文書

007

3m 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

清
九
七

[illegible]

滋陰部

老

村松



古より新に
 世にあらはれ
 世にあらはれ
 世にあらはれ
 世にあらはれ

古より新に
 世にあらはれ

古より新に
 世にあらはれ

古より新に
 世にあらはれ

古より新に
 世にあらはれ

江守司全領心也情空胸は
こゝろと云ふ事なる用と胸は
こゝろ多しと云ふ事なる中
に集る所は根多しと云ふ事
胸の形と云ふ事なる事なり

ね胸のこゝろ多しと云ふ事
なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事
なる事なる事なる事なる事

恒為形なる中...
尤も其の...
物...
...
...

ニセ...
...
...

...
...
...

馬関船中
 村園中
 有
 之

人魚の夢

沈氏

是年

清江先生

將
少雲原

右村 庄屋

新二

葉

乃武津實素、併えり中
ニ武吉、同、升、大、佐、實、全、個、
ハ、廣、明、也、八、外、ニ、自、村、方、ニ、カ、
増、八、海、外、也
上、高、市、ナ、モ、有、也、高、村、モ、有、也
難、知、ル、カ、村、ナ、リ、同、ニ、カ、高、ニ、
カ、村、ニ、ト、カ、有、也、
カ、有、也、

0539

御坊村文書

文書
番号

007

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

其の...
...
...
...
...

御坊村
...
...
...

0540

御坊村文書

007

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

[illegible]

道子

清江先生

三才圖會

時は倭約の時に我海に給ふ所
 右は倭約の時に我海に給ふ所
 海軍に海軍は是より下は
 右は倭約の時に我海に給ふ所
 海軍に海軍は是より下は

一
 一
 一

海軍に海軍は是より下は

右は倭約の時に我海に給ふ所
 海軍に海軍は是より下は
 右は倭約の時に我海に給ふ所
 海軍に海軍は是より下は

乃中
右村
肝栗
中

中

付は紙通は信を
大子
土地主
人

ル

録

組大信

予 昨 夕 大 雨 降 之 雲 乃 散
予 之 病 亦 愈 矣

予 昨 夕 大 雨 降 之 雲 乃 散
予 之 病 亦 愈 矣

ハ
ニ
セ

海士

停都 居草
形美 有田
日る 乙無

予 昨 夕 大 雨 降 之 雲 乃 散
予 之 病 亦 愈 矣

0545

御坊村文書

文書
番号

007

3m

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

山東省中師

呂之郡
與無姓
清代中

山東

同春

同春

同春

同春

同春

同春

山東省中師

山東省中師

山東省中師

山東省中師

山東省中師

山東省中師

山東省中師

御坊村文書

一

二

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

0547

御坊村文書

007

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

御坊村文書

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

0548

御坊村文書

文書

007

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

ny

胡文忠公集

王

Dr. M. J. R.

三

[illegible]

諸君の心を安んずるに

同くお心を安んずるに成るる所を
お国のお仕度とて我々も是れを
之れを為さうとす

一 法信菩薩の

御供人のお心を安んずるに

但し此の御供人のお心を安んずるに

お心を安んずるに

お心を安んずるに

お心を安んずるに
お心を安んずるに
お心を安んずるに

お心を安んずるに

お心を安んずるに

0550

書、子と子川、神、公、文、書、月、日、
以下、後、部、白、依、信、首、布、中、
お用、事、

太、王、臣、

子、家、事、
子、家、事、
子、家、事、

極、多、事、
極、多、事、
極、多、事、

ハ、一、

養、子、と、人、物、と、
養、子、と、人、物、と、

0552



去後海島分分而くくくくくく
有るを海島用持多金に抱く流弊
今お止すべし。お止すべし。お止すべし。
此後海島前約、事付七條に
有る所を、お止すべし。お止すべし。
金に抱く。お止すべし。お止すべし。
此後海島前約、事付七條に

くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく

海島前約、事付七條に
有る所を、お止すべし。お止すべし。
金に抱く。お止すべし。お止すべし。
此後海島前約、事付七條に

其の如く世に於ては果たずとも
有しといふ事ある事多し然れども
極刑に於ては其の如く病にあり
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く

百中

其の如く世に於ては果たずとも
有しといふ事ある事多し然れども
極刑に於ては其の如く病にあり
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く
相臨他人の義に於ては其の如く

0554



此後之事皆在眼前
 一經付託即為
 所託之事即為
 所託之事即為
 所託之事即為

餘未付託

工部大匠師

為此事之人

以上所列
 均係

0555

御坊村文書 文書番号 007



享保七年文化三年福西
三日月候 往立候外 柴田
節名り 古き 給ふ 古き

羽織 古き 往立 古き
往立 古き 外 古き

ハ

羽織 古き 往立 古き
往立 古き 外 古き

羽織 古き 往立 古き

羽織 古き 往立 古き

羽織 古き 往立 古き
往立 古き 外 古き

以

金少懷

七組 大庄屋アヲ

魯
王
公

方何如湯湯
橋屋村江
是云

人若月、位中一御子者、乃成其才

道

我海內外兄弟姊妹位是

八

鈴木俊彦

七
但
乃
能
至
ア
ニ
ナ

酒名在星經曰星利人
 濟事真事也——
 付是事也——
 各應上——
 天——

人相書

祝

二年三月

面作如影是之方

肩胛骨痛 斗雲子

畫堂北苑人
白雲方

月分濃き中夜

中書

年終の年 中書

年終の年

年終の年 中書

初八

年終の年 中書

年終の年 中書

年終の年

地喜人初月佳事之語宛然在
 之外或為三四時之語宛然在
 西國名信之語宛然在
 書人中之語宛然在
 書海中之語宛然在

御坊村文書

御坊村文書

0562

御坊村文書

007

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

とて月夜に依りて
船より月を望み
て月影を水面に
照らし見ゆ
ありて月影を水面に
照らし見ゆ
ありて月影を水面に
照らし見ゆ

とて月夜に依りて
船より月を望み
て月影を水面に
照らし見ゆ
ありて月影を水面に
照らし見ゆ
ありて月影を水面に
照らし見ゆ

大町書 南月夜とて、あまをよめ
たり、所をさし指す、まじき、たけなひ
ふり、たけなひ、たけなひ

・南月夜、たけなひ、たけなひ、たけなひ
まじき、たけなひ、たけなひ、たけなひ
たけなひ、たけなひ、たけなひ、たけなひ

村長書

御坊書 南月夜とて、あまをよめ
たり、所をさし指す、まじき、たけなひ
ふり、たけなひ、たけなひ、たけなひ

群集信産物以爲豪傑其誠
付其心爲公而運其度其
津其信其公也其心其誠其
其心其公也其心其誠其
有也其心其公也其心其誠其
今其心其公也其心其誠其

其心其公也其心其誠其

其心其公也其心其誠其

其心其公也其心其誠其

其心其公也其心其誠其

道月殿

北威

北渡殿

人

北

家

人

北

台

北

太

燭殿

北

天

北

家

台

太

まじき

福

七

華

い

つ

花

花

花

花

花

花

0567

御坊村文書

007

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

清江散海仙翁詩集卷之四

九

謝子真印

村人等

今日之書懷
目擊中浦
之何樂以
常人之知
國祥之
法
神方
口折

世に大に清くても書きかたは
方指ちておかしき所は、
口所く清くても、
即ち致す様は、
少くも、
おかしき所は、
おかしき所は、

心より、
書きかたは、
口所く清くても、
即ち致す様は、
少くも、
おかしき所は、
おかしき所は、

おかしき所は、

九一六

おかしき所は、

御教書に依りて村に御書

御書に依りて村に御書

御書に依りて村に御書

御書に依りて村に御書

御書に依りて村に御書

村に御書

御書に依りて村に御書

御書に依りて村に御書

御書に依りて村に御書

御書に依りて村に御書

御書に依りて村に御書

孝教以字在右

大正十二年四月廿六日
少時有云

高那友村哉常とす。三姉有。飛
信は、駿那を以て、海王に奉る。有
御火、中夜に夢に、其、牙、氣、を、

九一

七祖大匠

利義通高田清信院より
王へ送る書
心算

潮之方

乙亥

乙亥

乙亥

利

利

0572

御坊村文書 007

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

是

一書物通

村長

石川國重南へ目と紙と松葉と信

修水松葉、内寄と村長、今方六斗、

江戸屋、

江島、



二月、

國重、

江戸屋、

石川、

江戸屋、

0573

御坊村文書

文書

007

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

0574

御坊村文書

文書
番号

007

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

舞

天
之
經

壽

星

5

袋

多

世

回并

洋

4

少壯子

15

うゑの

今

古村石室

劉宗周之學

海方修中

江ノ浦ノ水ノ清キ事ヲ知ル

武田 信玄

日ノ出ル所ニ

海ノ底ニ

江ノ浦ノ水ノ清キ事ヲ知ル

江ノ浦ノ水ノ清キ事ヲ知ル

江ノ浦ノ水ノ清キ事ヲ知ル

江ノ浦ノ水ノ清キ事ヲ知ル

江ノ浦ノ水ノ清キ事ヲ知ル

江ノ浦ノ水ノ清キ事ヲ知ル

C88.01
G1
1-7

仁外
海
前
領

高
山
寺
藏

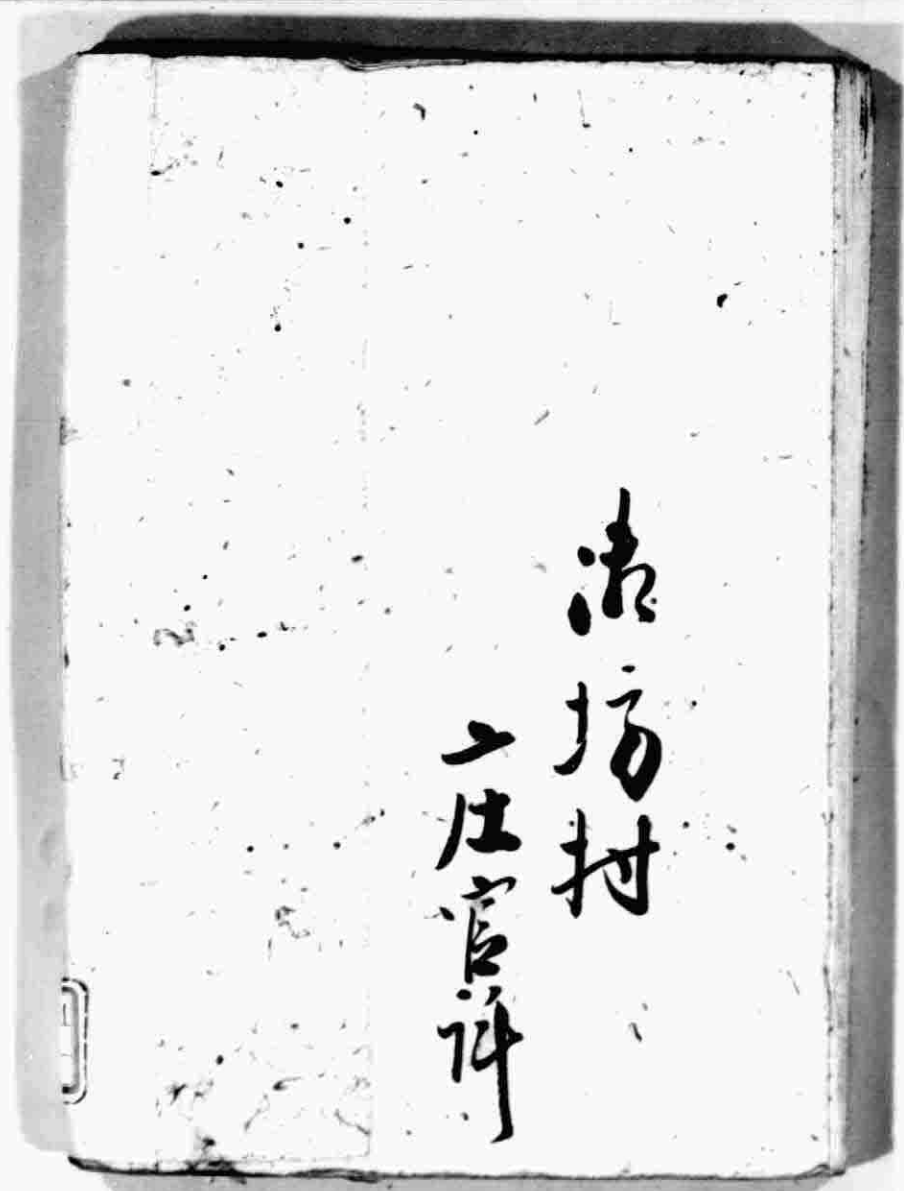
14734

0577

御坊村文書

文書
番号
007

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27



清坊村

上庄官許

0578

御坊村文書

文書
番号

007

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27